

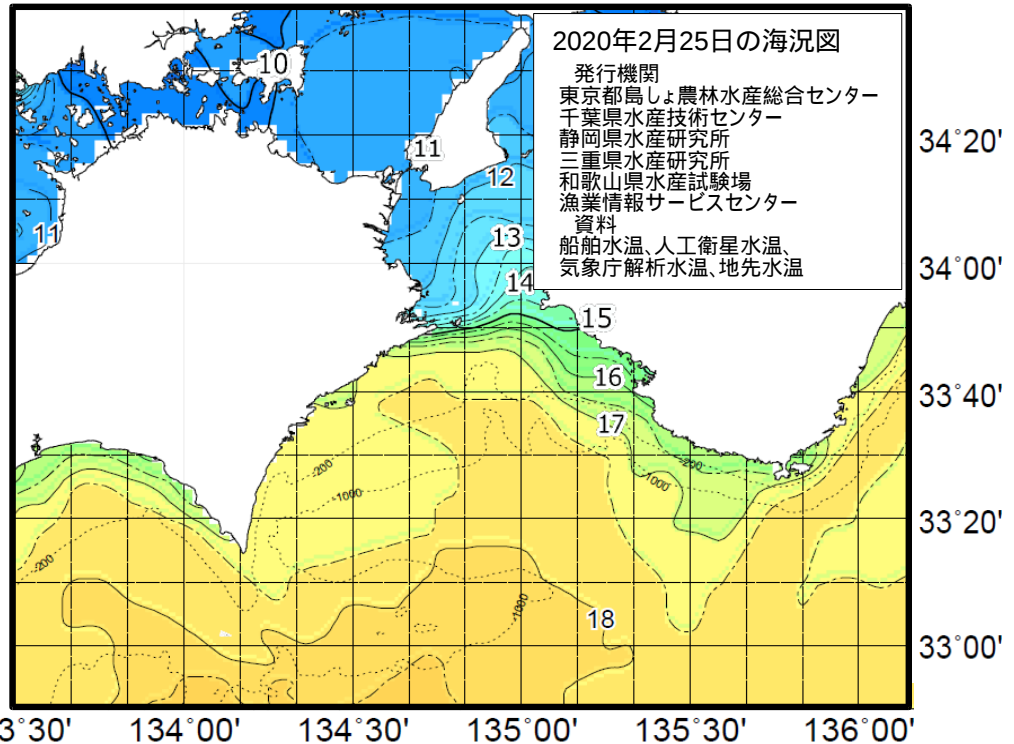
海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」して流れている。黒潮の表面水温は20 台。

徳島周辺海域の水温は、播磨灘は10 台、紀伊水道は11 ~ 13 台、海部沿岸は14 ~ 17 台となっている。

海部沿岸には外洋系暖水が波及している。



黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸: ~ 25NM やや離岸: 25 ~ 45NM 離岸: 45 ~ 65NM 著しく離岸: 65NM ~
潮岬沖 接岸: ~ 26NM やや離岸: 26 ~ 56NM 離岸: 56 ~ 86NM 著しく離岸: 86NM ~

(いずれも正南方向)

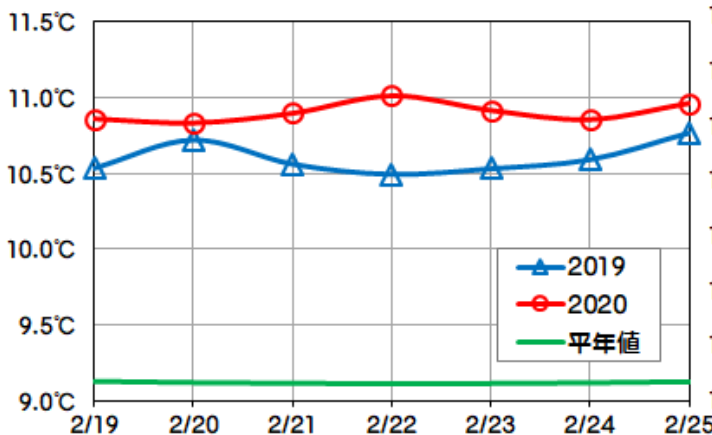
直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

2. 地先水温(2020年2月19日~2月25日)

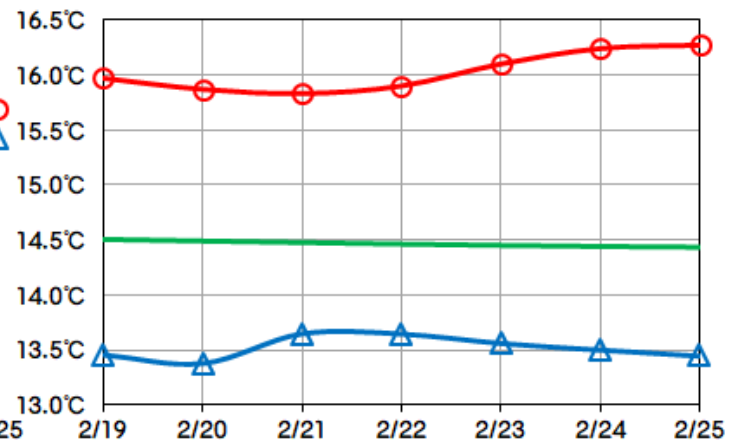
鳴門地区の水温は「高め」の11.0 ~ 10.8 で推移した。

日和佐地区の水温は「やや高め」~「高め」の15.8 ~ 16.3 で、暖水波及の影響で、期間後半上昇傾向で推移した。同じ理由で、牟岐地区の地先水温が22日頃から「かなり高め」の17 台で推移している。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値 ± 0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値 ± 0.5 以上 1.5 未満
高め/低め: 平年値 ± 1.5 以上 2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ± 2.5 以上
平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(2月26日~3月3日)

鳴門地区の水温は引き続き「高め」、日和佐地区の水温は「高め」~「やや高め」で推移する見込み。黒潮は、室戸岬沖では「離岸」~「著しく離岸」、潮岬沖では引き続き「著しく離岸」で推移する見込み。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

釣りでは、タチウオが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

延縄では、タチウオが特大主体に1.7ト、ブリが大きく減ってめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大きく増えて大主体に0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが減って小小主体に0.3ト、ブリが減ってめじろ級主体に0.2ト、ヒラメが大主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが大主体に2ト、えそ類が減って0.3ト、ケンサキイカが小主体に0.2ト、モンゴウイカが0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが1.1ト、マアジが大主体に0.1ト水揚げされた。

延縄では、ブリが大きく増えてぶり級主体に0.4ト水揚げされた。

建網では、ヒラメが大きく増えて0.3ト、ウスバハギが大きく増えて0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが増えて0.6ト、マアジが小小主体に0.4ト、ウルメイワシが増えて0.2ト水揚げされた。

大型定置網では、マサバが大きく増えて中主体に0.2ト、マアジが大きく増えて小小主体に0.1ト、マルアジが大きく増えて中主体に0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	釣り	4	タチウオ	162	41		↗↗
	延縄	67	タチウオ	1,729	26	特大主体	→
		18	ブリ	314	17	めじろ級主体	↘↘
		5	メダイ	128	26	小主体	↗
	建網	14	カワハギ	102	7	大主体	↗↗
	小型定置網	14	マアジ	260	19	小小主体	↘
		13	ブリ	227	17	めじろ級主体	↘
		14	ヒラメ	193	14	大主体	→
	底びき網	42	コウイカ	2,018	48	大主体	→
		35	えそ類	274	8		↘
		39	ケンサキイカ	175	4	小主体	→
		31	モンゴウイカ	151	5		→
		29	ハモ	110	4	中主体	↗↗
	海部沿岸	釣り	19	タチウオ	1,136	60	
15			マアジ	125	8	大主体	→
延縄		5	ブリ	413	83	ぶり級主体	↗↗
建網		41	ヒラメ	326	8		↗↗
		3	ウスバハギ	143	48		↗↗
小型定置網		16	カタクチイワシ	624	39		↗
		12	マアジ	413	34	小小主体	→
		10	ウルメイワシ	187	19		↗
大型定置網		3	マサバ	176	59	中主体	↗↗
			マアジ	147	49	小小主体	↗↗
	マルアジ		129	43	中主体	↗↗	